

Q.

昭和 30 年代、合浦公園内にあった図書館のような施設について知りたい。

A.

施設の名称は児童文化館といい、昭和 31 年（1956）8 月 15 日、地域の子どもたちの遊び場として開館しました。児童文化館は 2700 冊以上の図書を所蔵しており、館内で閲覧することができました。また、図書以外にも映写機、幻灯機、スライド、紙芝居があり、野球、ソフトボール、バドミントンの道具も揃っていました。

建物は新しく建設したものではなく、進駐軍が使っていた建物を再利用しました。敗戦後、合浦公園は進駐軍によって接収され、カマボコ兵舎や将校住宅が建設されました。昭和 29 年 12 月に公園全域が市に返還されたあともいくつかの建物が残っており、そのうちの一棟を児童文化館として使うことになったようです。



児童文化館（昭和 30 年代、歴史資料室蔵）

また、この建物には中央公民館合浦分館が併置され、お茶・お花の教室など大人向けの催しにも利用されていました。

〈関連メールマガジン〉

「あおもり歴史トリビア」第 343 号（平成 31 年 2 月 8 日配信）